

奈良経済産業協会

NARA ECONOMIC AND INDUSTRIAL ASSOCIATION

NEWS

平成31年 1月 第38号



謹
賀
新
年



平成 31 年 年頭のごあいさつ



奈良県知事
荒井 正吾

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人奈良経済産業協会の皆様には、輝かしい新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素から、奈良県政の推進にご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

私はこれまで、「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを県政の目指すべき姿とし、「奈良を良くしたい」という強い思いのもと、県庁職員とともに、直面する県政諸課題に全力で取り組んでまいりました。

しかしながら、大阪のベッドタウンとして発展してきた本県は、今後他県に比べ、人口減少と高齢化が急速に進んでいくと思われます。この影響を緩和し、持続的に発展していくためには、将来の地域発展に繋がる投資を積極的に行う必要があります。今後も一層、奈良のより良き未来に向けた種を蒔いて、将来の奈良県の礎を築いていく所存であります。

産業面では、企業の立地が着実に進んでおります。経済産業省及び近畿経済産業局の「工場立地動向調査」によれば、平成29年には、近畿圏で兵庫県に次いで2位の34件となり、平成30年上期でも全国7位の22件と好調です。一方で産業用地の確保が課題となっております。立地ニーズが高い西名阪自動車道や京奈和自動車道周辺での新たな産業用地確保に向けた取組も進めてまいります。

また、国内の販路拡大のみならず、海外への販路拡大にも力を入れてまいります。昨年11月に日本貿易振興機構、通称ジェトロの奈良貿易センター事務所を誘致いたしました。ジェトロは、海

外展開について豊富なノウハウや海外ネットワークを有しております。今後、海外展開をお考えの方をはじめとして、積極的なご活用を期待しております。

雇用面では、就業地域別の有効求人倍率は過去最高値を更新し続けています。本県における経済活動が旺盛で、労働力の需要がかつてないレベルになっていると思われます。しかし、奈良県の労働人口の就業率は決して高くありません。また、地域ごとの労働需給にはかなりの差があります。各地の様子を観察し、雇用改善に繋げていきたいと思ひます。

改善策として、離職者再雇用に取り組みます。本県は離職率が低い県です。再就職支援窓口の充実や離職者の特性に応じた個別支援等により、再就職支援、職業訓練を行います。同様に出所者雇用にも力を入れます。罪を犯した人に雇用の機会を与えることは再犯率の低下にも繋がり、とても大切です。

また、近年あらゆる職場での働き方改革が必要となっております。県庁では、テレワークやフレックスタイム制などの多様な働き方の推進、超過勤務の縮減・効率的な業務運営等の実施により、職員の働き方改革に取り組んでおります。

これからも、奈良を少しでも良くしたいという願いを強くもちながら、県民の皆様のご意見やご提案に十分に耳を傾け、力を合わせてより良き未来を築いていきたいと考えています。その中で本県を代表する企業の集まりである貴協会に期待する役割は重要度を増しております。地域の知恵・技術の取りまとめ役として、新たな事業機会の創出に挑戦いただくなど、更なるご活躍を期待申し上げます。今後とも奈良県経済発展に向けた重要なパートナーとして県政へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



一般社団法人奈良経済産業協会
会長 佐藤 進

新年あけましておめでとうございます。

本年が皆様方にとりまして、より良い一年でありますよう心よりご祈念申し上げます。

多くの人が語っておられるように、今年の新年は、平成最後の新年・お正月となりました。

平成が始まった 1989 年は激動の年であり、中国天安門事件・ベルリンの壁崩壊があり、一般消費税 (3%) が初めて導入された年でありました。

現在までに、未曾有の二度の大震災（阪神淡路・東日本）を経験し、二度の政権交代もありました。

バブル景気からバブル崩壊・リーマンショックを経て、失われた 10 年が 20 年になり、低迷が長らく続きましたが、アベノミクスによる経済改革により、近年景気は持ち直し、中小企業にとって好景気高揚感のない中でも、経済は好調を維持しています。

直近は、人手不足感が非常に強くなっており、有効求人倍率がバブル期を超えるなど、平成が始まったバブル期の状況と似ているとも言えます。

平成が終わり新しい時代を迎える中で、我々企業経営者は、山積する課題について、どの様に対応していかなければならないのでしょうか。

昨年 2018 年だけを振り返っても、大阪北部地震や西日本豪雨災害などの自然災害による事業継続に関するもの、働き方改革に関する課題、そして先程の人手不足への対応などが枚挙につきません。

想定を超える自然災害により、多くの企業が、営業や操業停止等の深刻な被害を受け、事業継続に大きな影響をもたらしました。いざという時に備えた、BCP（事業継続計画）の策定や整備の重要性が非常に高まっています。

当会としましても、会員企業の永続的な発展に向けて、ソフト・ハードの両面から、事業継続に向けた課題克服の支援を行って参りたいと考えております。

また、長時間労働の削減や同一労働同一賃金の導入など法制化の動きに合わせ、働き方改革は、人手不足と関連し、待ったなしの喫緊の課題です。

お客様のニーズに応え、迷惑を掛けないように仕事を進めるには、人手不足に対応して現有の人員で、業務を効率化・省力化してことが必要で、「生産性向上」以外に方法はないと言えます。

当会としましても、昨年度は特に「生産性向上」をキーワードに、製造・生産といったものづくり現場だけでなく、総務や営業等の間接部門をも対象に、様々な視点で事業を実施しました。今年度も昨年度以上に、日々の業務を見直し、その中に潜むムダ・ムリ・ムラを明らかにし、改善を通して効率化を図る支援に取り組んで参ります。

そして、同一労働同一賃金といった法制度に対応する勘所は、均等・均衡待遇と不合理な待遇差の解消といえ、そのためには、合理的で納得性が高い基準を明らかにしていくことが必要となります。この働き方改革に関しても、当会として、様々な事業を通して、法制度の内容周知と合わせて、それに対応した制度作り・運用の支援を継続して実施して参ります。

“企業は人なり”と言われるように、人材の活躍なくして企業発展はないといえます。当会としても、企業を支える人材が生き活きとやり甲斐をもって働ける職場作りと共に、自ら行動できる人材の育成と人間力を磨き高めて行く取組も、平行して進めて参ります。

本年も微力ながら奈良県産業の振興・発展に誠心誠意取り組んで参りますので、皆様のご協力、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

経営者懇話会（第2回）

人材育成委員会主催（H30.11.16）



（株）ニプロン
生産本部 本部長
和田弘志氏

経営者懇話会第2回目は、尼崎市にあります、（株）ニプロン阪神夢工場様を訪問いたしました。

同社は、スイッチング電源及びノンストップ電源とその周辺装置等の開発製造販売をされておられます。

当日は、生産本部長 和田弘志様にご挨拶頂き、生産技術部長 塚腰勝則様から生産性・品質向上のお取組のご解説を頂きました。

塚腰生産技術部長様から、「当社は、ATM・医療MRI等の高い信頼性を要求される機器に使用される製品を一貫生産にこだわり生産している。多品種変量生産である為、自社開発システムとロボットを駆使して生産性・品質向上に取り組んでいる。手作業の基板実装工程では、デジタル化した作業指図書を順次モニター表示し、ミックス生産での人為ミスを防止している。外観検査は全数、画像処理検査で、部品・半田付け状態等を厳しくチェックしている。組立・最終検査では、製造工程のデジタル化による工程進捗の見える化で、工程飛ばしの抑止、工程間仕掛品の削減等を行っている。今後は、各工程の省力化・自動化だけでなく、部品の供給・仕掛品等の搬送を自動で行う構内物流システムの開発で、リードタイム短縮による生産性向上を図っていく。」とお話頂きました。

工場見学では、機械・基板実装、検査、組立、出荷までの一貫生産ラインを拝見しました。

作業者が作業指図書の画面を確認しながら、正確に部品を実装・半田付けしている様子や、ロボットが人の手の様に複雑な動作で部品をセットしていく様子、また、からくりを使った構内物流システムの部品搬送用台車の試作品を拝見しました。

ITとロボットを活用した生産性向上等の取組を知ることができた有意義な時間となりました。



経営者懇話会（第3回）

人材育成委員会主催（H30.12.5）



阪神梅田本店
生鮮・惣菜商品部長
中尾康宏氏

経営者懇話会第3回目は、（株）阪急阪神百貨店 阪神梅田本店 生鮮・惣菜商品部長 中尾康宏様に、「デパ地下バイヤーの仕事術」を演題にご講演頂きました。

講演概要は次の通りです。

「入社後、紳士服売場を経て、15年間酒売り場を担当した。バイヤーは、自分の長所・個性を活かしながら、お互いの信頼関係を築いていくことが一番大事である。必ず、電話で相手の声を聞きながらコミュニケーションをとり、できるだけ先方の会社に出向いて会社の雰囲気を知ることになっている。バイヤーとしては2勝8敗と失敗も多かったが、楽しく日々新しいことに挑戦していた。2014年に阪神梅田本店の建て替えに伴い、生鮮・惣菜商品部に異動となり、スナックパークのリニューアルを任された。スナックパークは、1957年から続く“いか焼き”や、“ちよぼ焼き（たこ焼きの元祖）”等の店があり、長年ご愛顧いただいていた。当初、2021年のグランドオープンまで休止予定とだったが、再オープンの問い合わせが殺到したため、予定を前倒して2018年にオープンすることになった。早い・安い・うまいのコンセプトは変えず、『ワンコイン・ワントレー・提供時間3分』を必須条件に店舗を開拓し、“他に店は出さない”と有名だった人気店も“子供の頃の思い出深いスナックパークなら”と出店してもらえた。食品営業・営業企画・サービス担当部門等から人材を集め、『チームスナパー』を結成し、それぞれが自分のスキルを活かして仕事に取り組んでくれた。数多くの課題をチーム一丸となって解決し、8月のオープンを迎えることができた。「食の阪神」「大阪庶民の台所」としての歴史を引き継ぎながら、今後も新しいことに挑戦し、新規顧客を取り込んでいきたい。」とお話頂きました。



女性リーダー懇話会

人材育成委員会主催 (H30.10.24)



岡村印刷工業(株)
石井優子氏

女性活躍に取り組んでおられる企業の女性リーダーの方をお招きし、他社のリーダーとの意見交換・交流を通して、自ら成長していくリーダーの醸成に向けて「女性リーダー懇話会」を開催致しました。

第1回目は、岡村印刷工業(株)の総務部総務人事課係長の石井優子様、大阪事業部2部4課係長の山本満里子様にお越し頂き、同社の両立支援・働きやすい職場づくりの取組と共に、働く女性リーダーとしてのご経験談をお話頂きました。

石井様からは、「係長になった時に上司から、一人で抱え込まずに周囲を巻き込んで取り組むことが大事と言われた。人に仕事を任せるといことは、任せた人のスキルアップに繋がり、成長してもらうために必要なことだと思う。日常の仕事の他に、管理部門として会社全体の仕事もある。仕事をお願いする時は、気持ちよく引き受けてもらえるような話し方を常に意識している。」とお話頂きました。



岡村印刷工業(株)
山本満里子氏

山本様からは「新卒で営業職として入社した。当時、女性の営業は少なく、自分の営業スタイルや人との接し方について悩んでいた。周囲にロールモデルがおらず、仕事で知り合った女性のデザイナーや編集者の方の話し方や仕事の仕方を見て学んだ。また、奈良のお客様は温かい方が多く、色々なことを教えて頂いた。自分が成長していくには、視野を広げ、多くの人と出会い、学んでいくことが大切である。」とお話頂きました。

参加者からは「多くの課題を持ちながらも頑張っておられる方々との意見交換は大変参考になった。自分も成長するために、もっと頑張っていきたい。」とご感想を頂きました。



ものづくり研究会 (第2回)

ものづくり委員会主催 (H30.11.12)



(株)かんでんエンジニアリング
事業サポート本部 サポート室
総合教育センター マネージャー
神田修司氏

第2回ものづくり研究会は、会員企業の(株)かんでんエンジニアリング奈良支店様のご支援を得て、同社大阪北事業所にあります屋内訓練棟を訪問しました。

同社の安全教育拠点の一つで、危険の体感を通して安全への理解を深める教育訓練施設です。

当日は、総合教育センターの神田修司マネージャー様をはじめ多くの方からご解説を頂きました。不安全な行動や状態のみで起こる事故は少なく、2つが重なった時に起こる。例えば、雨で滑りやすい(不安全な状態)時に階段を駆け下りる(不安全な行動)ことで、事故につながると共に、また階段の滑り止め(正常)があっても、摩耗したまま放置(異常)されていると事故につながるの、異常を判断できる教育が重要であるとして説明頂きました。建設や製造の現場では、若年層の経験不足による事故が問題となっており、災害の模擬体験を通して、危険感受性を向上させることが重要であると、訓練施設の意義を伺いました。

高所作業や溶剤爆発、回転体・ベルト巻き込みなどの体感をさせて頂きました。

巻き込まれた時に非常に強い力で引っ張られたり、高所からの墜落・飛来落下による強い衝撃を体感させて頂き、体験者はもとより見学者でさえ、その衝撃の大きさがよく分かり、実際の事故を想像するだけで、身が引き締まる思いでした。

事故を防ぐには異常・ルールからの逸脱を、判断する基準を明確にし・そのずれを発見する力を養い・異常に気づいたらまず止まり相談することを徹底する大切さをご指導頂きました。

様々な現場で起こりうる災害の防止に向けて、施設での安全体感を通して、現場での安全教育・安全活動の重要性を改めて認識しました。



国内視察

総務委員会主催 (H30.11.7-8)

今年の産業視察は11月7～8日に島根県を訪れました。企業視察と共に、島根県の文化・歴史を幅広く学んで参りました。

1日目：11月7日（水）

日立金属㈱安来工場

古代から山陰地方は“たたら吹き”製鉄法による鉄作りの一大産地で、現在の日立金属㈱安来工場様は創業時の伝統を引き継いでおられます。

同工場は、工具・刃物・金型・産業用機械・航空機等の材料となる特殊鋼を製造されています。

東京ドーム20個分の広大な工場で特殊鋼を年間12万トン製造されており、特に高級カミソリの刃の生産では半数以上の世界シェアを有しておられます。冶金研究所も併設し、島根大学と産学連携も行い、材料・用途開発を行っておられます。

工場見学では、何トンもの熱せられた鋼塊が大型アームにより鍛造・プレスで生産される流れを解説頂き、また各用途向け線材や板材に加工される様子を拝見して規模の大きさに驚きました。



足立美術館

同美術館は、地元出身の実業家・足立全康氏が開館したもので、横山大観の作品は総数130点にのぼり質量ともに日本一として知られています。

また日本庭園も殊に有名で、米国の日本庭園専門雑誌で15年連続日本一に選出されており、素晴らしい庭園に参加者一同感動されていました。



2日目：11月8日（木）

㈱島根富士通

同社は、年間200万台のパソコンを一貫生産により、国内最大の生産を誇り、他社では海外での生産が多い中、品質にこだわり日本国内での生産に特化しておられます。

ICTを活用した生産現場は、異常時に止まるラインによって、不良を出さず工程で品質を作り込む製造不良ゼロを掲げて生産されています。

自動機とICTにより、作業者と機械とが協調生産を行うことで高い生産性向上に取り組んでおられます。

工場見学では、部品のピッキング間違い防止、生産性を高めた自動化、作業不良・ミス等を防ぐヒューマンエラー防止機構、省力化を図るカラクリ活用など、生産性向上を図る仕組みを拝見し、高い品質が国内で生産されているよく分かりました。



松江城・出雲大社

2015年、国宝に指定された松江城を訪問しました。国宝認定の決定打となった木札があった柱も拝見し、高層で規模の大きな天守閣と縄張りの立派な見応えある素晴らしい城郭でした。

出雲大社へも訪問しました。訪問した日は旧暦10月で出雲（島根県）に全国の神様が集まってこられる“神在月”ということで、大変御利益のある有り難い参拝となりました。



大学・企業懇談会

労務委員会主催 (H30. 11. 29)

企業の採用担当者と大学の進路指導担当者との理解と交流を深め、今後の人材確保に役立てる為に「大学・企業懇談会」を開催致しました。

事前に、大学と企業双方へ実施したアンケートの調査結果を報告しました。

大学側からは、H 31 年 4 月入社予定の内定率は、昨年度と同程度もしくは上昇が約 9 割を占め、企業側からは、今年度の採用数は昨年に比べ同程度もしくは増加が約 9 割との現状が紹介されました。

次に基調報告として、(株)マイナビ 就職情報事業本部販促支援部長の枝松哲朗様から「今期の就職・採用状況と来期の展望」について、ご解説頂きました。

企業の採用意欲は今年も増加傾向にあり、今後は採用予定数に届かない厳しい環境が続くと予想され、大卒だけでなく短大・専門学校や高校に対する需要も増加するだろうとの報告がありました。

その後、企業と大学の意見交換会を実施し、企業側からは、内定者が卒業できないという状況にならないように、内定者へのサポートも充実してほしいという意見がありました。大学側からは、現在の学生は勤務地限定制度や部署希望制度など、個々の希望に合わせた選択肢がある企業を求める傾向にあるとの意見がありました。

意見交換会終了後には、情報交換を図るために交流会を実施し、参加者の交流を深めました。

参加者からは、奈良県内の企業と県内外の大学が一堂に会する場を提供していただくことで、意見・情報交換ができ、非常に有意義で大変参考になったとの感想をいただきました。今後も、会員企業の人材確保に繋げることができるように尽力していきます。



(株)マイナビ
就職情報事業本部
販促支援部長
枝松哲朗氏



職場改善活動研修会（基礎編）

人材育成委員会主催 (H30. 12. 4)

現場力を高める手段として、職場改善活動（サークル活動等）は大変有効且つ重要です。

職場改善活動を進める上で、基本となる考え方や具体的な活動の進め方、基礎的なQC手法について学ぶべく、「職場改善活動研修会（基礎編）」を開催致しました。

この講座は、夏に開催の「活用編」と併せて、「より実践的な活動」に向けた一連の講座です。

講師には、改善事例発表会でご指導いただいておりますQCサークル近畿支部 大阪・近畿南地区アドバイザーの北野邦弘氏にお願いしました。

研修内容は、品質管理の基本的な考え方と共に、①QC的なモノの見方・考え方、②小集団による職場改善を進める上での勘所、③具体的な職場改善活動への取り組み方、④問題解決と課題達成の手順、⑤改善活動によるQC手法やデータの取り方など、事例を交えて説明いただきました。

演習では、課題の要因毎に抽出したデータを大きい順に並べて優先順位を見つけ出す「パレート図」や、課題について人や機械等の視点から要因を魚の骨のような図に示して、体系的にまとめた「特性要因図」の作成・活用方法を学びました。

グループ演習では、問題解決の考え方や手順、QC手法の使い方を具体的に理解するため、昔懐かしい「だるま落とし」を例に、“だるま落としがうまくできない”という特性について、「人・方法・材料・環境」の観点から“うまくいかない要因”を探し、うまくいくようにする対策の立案・実施、効果の確認など、一連の流れを学びました。

演習を通じ、実際の現場での課題解決の流れを体験しながら、手法の意味と活用方法を理解することができ、大変有意義な時間となりました。



QCサークル近畿支部
大阪・近畿南地区
アドバイザー
北野邦弘氏



環境ISO内部監査員養成講座

人材育成委員会主催 (H30.11.6-7)

規格で求められる内部監査に関する教育訓練の一環として、内部監査の力量の担保や監査員の力量向上などを目的に、恒例の環境ISO内部監査員養成講座を開催しました。

講師には、審査機関で審査員として活躍されると共に、企業の認証取得コンサルタントとしても活動されている、伊田ISO事務所代表 伊田嘉昌氏にお願いしました。

講師ご自身の経験を踏まえて、「監査する側」と「監査される側」の双方の視点で熱心にご指導を頂きました。

研修では、規格の要求事項の解説と共に、マネジメントシステムとして経営に寄与できるように、効果を上げるために内部監査が重要性など、具体的な事例を含めて学びました。

個人演習では、チェックシート作成や現場監査事例からの不適合抽出を行うと共に、監査後の是正処置報告書の作成など、実際に行う内部監査実施の手順に沿って、内部監査の計画作成から監査結果報告までの一連の流れを、より実践的な内容で実施しました。

また、グループ演習も実施し、実際の監査における質疑の方法や進め方について、「監査する側」と「監査される側」に分かれて、模擬内部監査を行って、監査の進め方を体験しました。

最後に修了試験を行い、合格者には協会認定の修了証を発行しました。

公的効力はありませんが、社内で内部監査員を任命するときの資格根拠としてご利用頂くことが出来ます。

今後も、ISO認証取得・維持活動の多角的な支援と共に、より効果的な内部監査に向けて実践的に取り組んで参りたいと思います。



伊田ISO事務所
代表
伊田嘉昌氏



新入会員様ご紹介

株式会社アクティブエナジー

【概要】

創業：2006年

資本金：1,000万円

代表者：代表取締役

西野光泰

所在地：〒630-8044

奈良市六条西五丁目 10-17

TEL：0742-49-4145

FAX：0742-48-4145

URL：<http://active-energy.co.jp/>

従業員：75名(全社) 65名(奈良)

事業内容：電気・設備工事、リフォーム・リノベーション事業、太陽光発電事業、不動産事業、農業生産・営農支援事業

電気工事会社として創業し、リフォーム事業、不動産事業、太陽光発電事業、農業まで、幅広く事業を拡大して参りました。個々の事業の連携により生まれるシナジーを強みに、奈良県初の営農型太陽光発電、次世代営農を推進する農業生産法人設立等、常に新たな事業領域に挑戦しています。

地元奈良に貢献するべく、さらなる成長を続けて参ります。



株式会社カワタテック

【概要】

創業：昭和8年

資本金：3,800万円

代表者：代表取締役

川田昌宏

所在地：〒633-0047

奈良県桜井市橋本 48-1

TEL：0744-45-0360

FAX：0744-45-0364

URL：<http://www.kawatatec.co.jp>

従業員：46名

事業内容：生産用機械器具製造業

奈良県桜井市に位置し、1933年の創業から工作機械の一部である旋盤用チャックを始めとする周辺機器を販売してきた会社です。

その後、パレットチェンジャ・ツールチェンジャの製造販売や、マシニングセンタ周辺機器の販売などに事業を拡大してきました。

国内だけでなく、海外14か国に輸出しています。



事務局 だ よ り

新 入 会 員 様 ご 紹 介

関西通信建設株式会社

【概 要】

創 業：昭和 41 年 1 月 17 日

資 本 金：2,000 万円

代 表 者：代表取締役

桐 山 賀 匡

所 在 地：〒 630-8451

奈良市北之庄町 66 番地 1

T E L：0742-63-7177

F A X：0742-63-7188

U R L：<http://kan-tu.com>

従 業 員：4 名

事業内容：電話交換機等通信機器

ネットワーク機器・弱电総合設備等の

設計施工及び販売・保守

創業より 50 年以上、地元奈良に根差した会社です。

情報通信ネットワークの構築において、お客様に最適なシステムをご提案することはもちろん、設計やコンセプトの提案、アフターフォローまで万全の対応をいたします。



阪神管理サービス株式会社

【概 要】

創 業：昭和 39 年

資 本 金：1,000 万円

代 表 者：代表取締役

清 水 克 益

所 在 地：〒 634-0078

奈良県橿原市八木町 1 丁目 8 番 15 号

T E L：0744-22-7012

F A X：0744-25-4802

U R L：<http://www.hanshin-kanri.co.jp>

従 業 員：110 名（全社 120 名）

事業内容：建物総合管理

ビル・マンション等、建物のより良い環境を維持するため、建物施設、各種機械設備の運転から点検、不具合箇所の修理・工事、また衛生・清掃管理に至るまで、豊富なノウハウと専門技能を活かして、多岐にわたるメンテナンスサービスを提供しています。



代 表 者 変 更

☆株式会社理研計器奈良製作所

(旧) 小谷野 純一 (代表取締役社長)



(新) 松本 哲哉 (代表取締役社長)

住 所 変 更

☆岩崎工業株式会社

〒 639-1081 大和郡山市額田部北町

1216 番地の 5



〒 639-1132 大和郡山市高田町 421-2

電話・FAX 番号変更

☆セイコー技建株式会社

(旧) T E L：0743-76-0606

F A X：0743-76-0478



(新) T E L：0743-61-5155

F A X：0743-61-5516

コーチング研修

管理者・リーダーは、対話によるコミュニケーションをもとに、部下・後輩の能力とやる気を引出し、自発的行動を促して目標達成までをサポートしていくことが重要な役割の一つです。

「聴く力」「対話する力」「相手を知る観察力」等のコミュニケーション・コーチングスキルを学びます。是非、ご活用下さい。

記

と き：平成 31 年 2 月 21 日（木）

13：00～17：00

場 所：奈良県産業振興総合センター

2 F 拠点研修室

参加費：5,400 円／人（消費税・テキスト代含）

申込み：事務局までご連絡願います。

謹 賀 新 年

佐藤薬品工業株式会社

代表取締役社長 佐 藤 進

〒634-8567 橿原市観音寺町9番地の2
TEL(0744)28-0021

株式会社イムラ封筒

取締役会長 井 村 守 宏

〒540-0026 大阪府中央区本町二丁目1番13号
TEL(06)6910-2511

関西電力株式会社 奈良支社

理事 支社長 木 村 治 久

〒630-8548 奈良市大森町48番地
TEL(0742)27-8916

株式会社きんでん 奈良支店

執行役員支店長 辻 嘉 明

〒630-8133 奈良市大安寺6丁目20番8号
TEL(0742)62-8771

三和澱粉工業株式会社

代表取締役会長 森 本 俊 一

〒634-8585 橿原市雲梯町594
TEL(0744)22-5531

大和ハウス工業株式会社 奈良工場

工場長 尾 崎 学

〒630-8453 奈良市西九条町4丁目2-2
TEL(0742)64-1500

DMG森精機株式会社 奈良事業所

専務取締役 大 石 賢 司

〒639-1183 大和郡山市井戸野町362番地
TEL(0743)53-1121

奈良交通株式会社

代表取締役会長 谷 口 宗 男

〒630-8651 奈良市大宮町1丁目1番25号
TEL(0742)20-3116

株式会社南都銀行

取締役頭取 橋 本 隆 史

〒630-8677 奈良市橋本町16番地
TEL(0742)22-1131

三笠産業株式会社

代表取締役 林 田 壽 昭

〒635-0817 北葛城郡広陵町寺戸27
TEL(0745)56-5581

奈良経済産業協会NEWS 第38号

平成31年1月発行
一般社団法人 奈良経済産業協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内
TEL(0742)36-7370 FAX(0742)36-7371
<http://www.nara-eia.or.jp> E-mail : info@nara-eia.or.jp